

安全データシート(SDS)

作成日 2010年 7月 9日

改定日 2021年 7月28日

1. 製品等及び会社情報

製品名(商品名等) : アルミ箔粘着テープ

会社情報

販売元 : 日東エルマテリアル株式会社

住所 : 532-0011大阪府大阪市淀川区西中島四丁目3-24
サムティ新大阪センタービル5階

担当部門 : 品質保証グループ

電話番号 : 06-6101-0771 FAX番号 : 06-6101-0775

2. 組成、成分表

単一製品・混合物の区分 : 成型品
(該当する製品は成型品(Article)であり、公的にMSDSが要求される化学製品ではありません。)

化学名又は一般名	アルミ箔	アクリル系粘着剤
別名	基材	粘着剤
CAS番号	-	-
官報公示整理番号 (化審法、安衛法)	-	-
危険有害性	該当しない	該当しない

3. 危険性有害性の要約

重要危険性有害性 : 特になし。

特有の危険有害性 : 特になし。
労働安全衛生法(製造禁止物質及び表示義務物質)、毒物及び劇物取締法(毒物、劇物、特定毒物)、化学物質排出把握管理促進法(第1種及び第2種指定化学物質)、及びオゾン層保護法、大気汚染防止法、水質汚濁防止法、化学兵器禁止法に定める特定物質、指定物質等は指針値を超えて含有せず。
国土交通省告示のホルムアルデヒド発散建築材料を指定せず。

GHS分類 : 該当なし(適用範囲外)。通常の状態では安定。

4. 応急処置

吸入した場合 : 通常の使用において可能性なし。

皮膚に付着した場合 : 石鹸を用いて水、またはぬるま湯で十分に洗浄する。付着部位に刺激や発赤のある場合は医師の診察を受ける。

目に入った場合 : 直ちに清浄な水で十分に洗浄する。眼球を傷つける恐れもあり、医師の診察を受ける。

飲み込んだ場合 : 通常の使用において可能性はないが、誤って飲み込んだ場合は医師の診察を受ける。

5. 火災時の措置

- 消化剤 : 泡消火薬剤、乾燥砂が有効。アルミ粉塵やチップ状のアルミが発生しない状況の場合は、粉末や炭酸ガスも使用可能である。
- 使ってはならない消火剤 : アルミ粉塵やチップ状のアルミが発生する状況の場合は、水や粉末、炭酸ガスは使用しない。
- 特定の消化方法 : 着火源を断ち、適切な消火剤を用いて風上より消化する。
- 消化を行う者の保護 : 適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

テープ状の製品のため漏出はしないが、散乱した場合は次の処置をとる。

- 人体に対する注意事項 : 床面などに散乱すると滑るなどの危険性があるため、掃き集める事。
- 保護具及び緊急時措置 : 保護手袋、場合により保護眼鏡の着用が望ましい。
- 環境に対する注意事項 : 外部に散乱する恐れのある場合、スクリーン等を設置する。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材(回収・中和等) : 全て回収し、廃棄物として適切に処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- アルミ箔による切り傷防止のため、保護手袋を着用する。
- 加熱昇音により臭気が発生する場合は十分に換気する。
- 床面などに製品が散乱すると滑り災害の原因になるので、こまめに清掃すること。

保管

- 品質を保持するため、直射日光や水分を避けて、常温常湿の場所に保管すること。
- 保管に際し、ポリ袋や段ボールケースなどに収納することが望ましい。

8. 暴露防止及び保護措置

- 許容濃度 : 特に設定されていない
- 設備対策 : 特に必要としない
- 設備対策 : 特に必要としない
- 呼吸器の保護具 : 特に必要としない
- 手の保護具 : 着用が望ましい
- 目の保護具 : 目に入る恐れのある場合は着用が望ましい
- 皮膚及び身体の保護具 : 特に必要としない

9. 物理的及び化学的性質

- 形状 : 銀白色のテープ状物
- 臭い : アクリル臭を伴う場合あり
- pH : 該当しない
- 融点・凝固点 : アルミニウムの融点は658℃
- 沸点・沸騰範囲 : アルミニウムの沸点は2060℃
- 引火点 : アクリル樹脂の引火点は約300℃
- 燃焼又は爆発範囲の上限/下限 : なし
- 蒸気圧 : なし
- 蒸気密度 : データなし

比重（相対密度）	: 約2
溶解度	: なし
n-オクタノール/水 分配係数	: なし
自然発火温度	: アクリル樹脂の発火温度は約450℃
分解温度	: アクリル樹脂の分解温度は約250℃以上

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の状態においては極めて安定
危険有害反応可能性	: 通常の状態では特になし
避けるべき条件	: 通常の状態では特になし。但し、巻いた状態で水と長時間接触すると、アルミニウムが反応して熱を発生する場合がある。また、酸、アルカリ、強酸化剤、ハロゲン化合物及び有機溶剤等と接触、またはその雰囲気中に置いたときに腐食、劣化する場合がある。
混触禁止物質	: 通常の状態では特になし
危険有害な分解生成物	: 通常の状態では特になし。但し、燃焼や分解においてアセトアルデヒドや炭化水素ガスを発生する場合がある。

11. 有害性情報

急性毒性	: データなし
皮膚腐食性・刺激性	: テープの端部で手を傷つける、また皮膚の弱い人に対し刺激することがあるため保護手袋の着用が望ましい。
目に対する重篤な損傷	: 刺激性: 刺激性はないが、目に入ると眼球を傷つける可能性があるため、状況により保護眼鏡の着用が望ましい。
呼吸器感作性又は皮膚	: 感作性: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露)	: データなし
特定標的臓器/全身毒性 (反復暴露)	: データなし
吸引性呼吸器有害性	: データなし

12. 環境影響情報

起こりうる環境影響	
生態毒性	: データなし
残留性/分解性	: データなし
生体蓄積性	: 情報なし
土壌中の移動性	: 情報なし

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 原状のまま屋外に放置しないこと。「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に従い適切に処理すること。
- 汚染容器及び包装 : 通常の状態では容器や包装物を汚染する事はない。内容物を確実に除去した上で適切に処理すること。

1.4. 輸送上の注意

- 国連番号 : 該当せず
- 品名 (国連輸送名) : 該当せず
- 国連分類 : 該当せず
- 容器等級 : 該当せず
- 海洋汚染物質 : 該当せず
- その他 : 品質保持の為、輸送中の高温、衝撃、水漏れ (高湿度を含む) を避けること。包装または梱包の上で輸送すること。

1.5. 適用法令

- 国内法令 : 廃棄物処理及び清掃に関する法律

1.6. その他の情報

記録内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性情報等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。

また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な場合は用途用法に適した安全対策を実施してください。